

広報

# のほろへつ

### 主な内容

- 8万都市実現のため行動する年に——  
59年度市長市政執行方針……………2 P
- 文化・コミュニティ施設づくりに重点  
——59年度主な事業のあらまし……………3 P
- スパイクタイヤをはきかえて——4月  
15日～10月31日まで……………7 P
- 子宮がん検診——早期発見で確かな健  
康を……………8 P

旭川市議会 旭川市議会 旭川市議会

● No. 391 ● 昭和59年4月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/日光印刷



## 必勝へのパスワーク

### 第8回登別サロンフットボール大会

3月20日、ここ総合体育館で戸外の寒さをよそに、サロンフットボール（室内サッカー）の熱戦が、繰り広げられました。「ボールを大きく右にまわせ、そこで、シュート・シュート…」「よーし、決まった。」と言った大きな声が飛びかい、コート狭しと動きまわる選手も汗だくとなってプレーをしていました。また、昨年10月に誕生したママさんチームが、「ママ、がんばって」と子どもたちの声援を受け登場。登別50雀（50歳以上の男性）チームと交歓試合を行い場内から拍手が沸き上がっていました。

結果は、接戦のすえ3対2で、50雀チームに軍配が上がりました。

1チーム5人で編成するサロンフットボールは、だれでも気軽に楽しめます。運動不足の解消にあなたも一度挑戦してみてくださいは…。

4.1 '84





市政執行方針を発表する中浜市長（3月1日、昭和59年第1回定例市議会本会議で）

# 地域経済の振興と景気回復を

三月一日から開会された、第一回定例市議会、中浜市長は昭和五十九年度の市政運営の基本方針と施策の概要を発表しました。市政執行方針の概要は次のとおりです。

日本経済の長期的な不況、低成長の中で、地方自治はか

つてない厳しい財政状況に直面して、慢性的な不況の悪影響は、市民生活の全分野に、大きな影響を及ぼして現われているのが現実です。

このため私は、市民生活を守ることを基本目標として、本年度を「地域経済振興の年」として位置づけました。行政改革を行ない、国や道の補助事業を可能な限り導入、活用することによって、公共事業を大幅に予算化し、地域経済の振興と景気回復を図ります。

## 積極的予算で公共事業の拡大

昭和五十九年度の予算は、国家財政の大きな影響を受ける一方で、昨年九月の豪雨災害による市税の減収、新日鉄

# 青少年の豊かな心を育てる運動も

合理化などの問題を抱えながら、「中長期財政計画」に沿った、次の二点を基本方針に編成しました。

- 一、緊縮健全財政を堅持し、行政改革を行なうこと。
  - 二、公共事業の拡大を図り、地域経済に刺激を与え、景気浮揚を図ること。
- この結果、特別会計を含めた全会計は百八十四億九千五百六十一万円となりました。経常経費を抑制する一方、投資的経費は、前年比約三〇パーセント増の三十三億円と大幅に増額した積極的予算となりました。

## 文化施設の充実 地域文化の拠点を新築

市民文化は、日常の市民生活の中で育まれ、生まれてくるものであり、魅力ある個性的な文化を創りあげるのは、市民の個性と創造性です。

昨年六月には、市民文化のシンボルとしての市民会館が完成し、娯楽と芸術活動の中心施設として有効的に利用されています。本年度は、優れた芸術鑑賞の機会として、札幌交響楽団演奏会や東京混声

## 都市基盤の整備 富岸地区の開発が急務

「八万都市構想」実現のためには、まず富岸地区の開発が急務です。開発手法として地



「のぞみ園」は、新設される「鉄南ふれあいセンター」に移り、機能訓練設備も充実されます

区画整理事業によることとして、本年度は調査費を計上しました。事業認可後は、年次計画を樹立して、約八十六ヘクタールの宅地開発を進めます。

北海道縦貫自動車道路は、昭和六十年に登別インターチェンジ（仮称）が完成します。更に、昭和六十一年には、市の中心地・陸上自衛隊横に入るインターチェンジが供用開始される予定になっており、商工業や観光など、当市産業の発展に大きく寄与するものと期待されます。

新登別大橋の建設、道々洞爺湖登別線の四車線化、オロフレトンネルの建設などは、すべて昭和六十年代初めに完成される予定です。これら主要道々の整備と合わせ、市道



# 8万都市実現のため

の整備をすることによって市内循環道路網が完成します。

## 産業振興対策 地場産品の愛用運動を

国際的観光地として登別温泉の発展を図ることは、重要な課題のひとつですが、最大懸念は、温泉市街地の再開発と観光施設の整備充実です。情緒ある温泉市街地形成を目的として、登別温泉地区観光開発計画策定調査費を計上しました。また、勝どき橋から大湯沼に至る遊歩道を新設します。

将来は、観光、ロードヒーティング、地域暖房など多目的利用が期待されます。また、公共施設の暖房利用を目的として、幌別地区でも地熱調査をします。

農水産業の育成については、中札内地区農免農道整備事業を引き続き実施するとともに、公社畜産基地の建設を促進

## 生活環境整備 道路舗装排水に六億円

本市には、新エネルギー総合開発機構などの調査によって、豊富な地熱資源があることが確認されています。本年度は、本格的な掘削位置選定のための調査が行われる予定で、市民生活に直結する道路舗装、排水路新設などは、六億



「相生の家」でくつろぐ老人クラブの皆さん。今年は、この「相生の家」のほか12カ所の「老人憩の家」が増設されます。

## 教育文化の振興 校舎はすべて永久化に

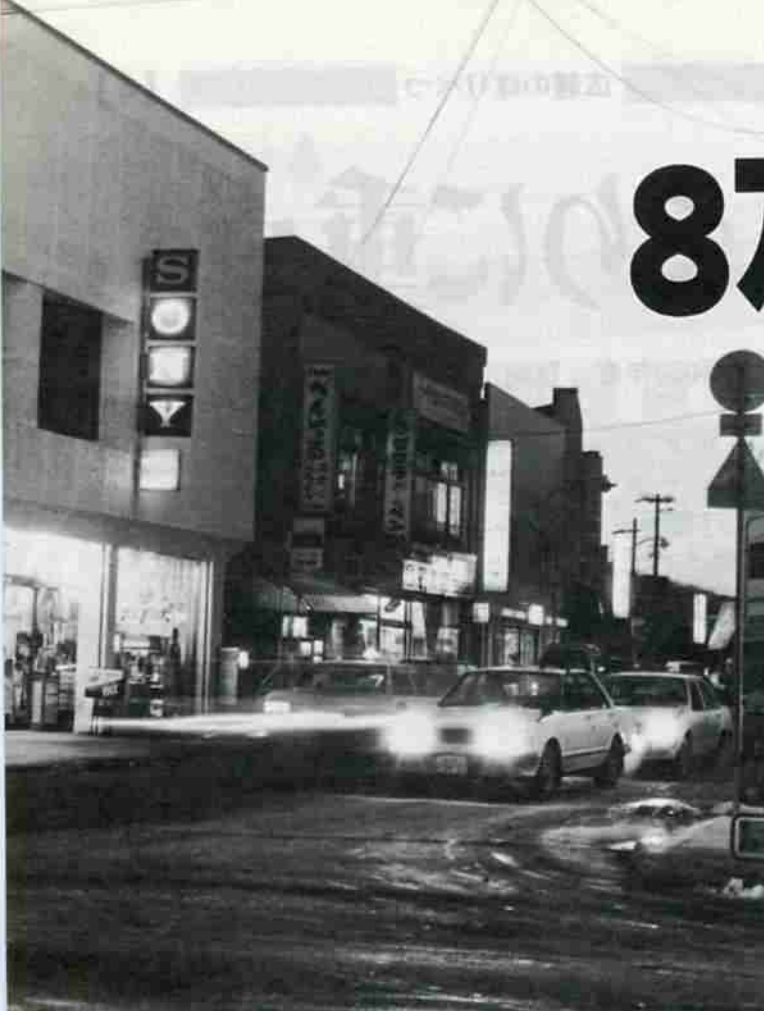
登別中学校の一部改築を行います。これによって、当市の小、中学校は、すべて永久校舎に生まれ変わります。昨年に続き、鷺別中学校校舎の大規模改修も行います。

心身にハンディをもった児童、生徒に対し、適切な教育の機会を確保するため、西陵中学校に特殊学級を新設します。

近年、大きな社会問題となっている青少年の非行防止については、家庭、学校、地域

## 福祉政策 老人憩の家を重点整備

し体不自由児通園施設のぞします。本年度は特に老人憩の家を重点的に整備し、十二カ所のふれあいセンターに併設され、機能訓練設備を増設します。更に、ひとり暮らしをもつ方々の自立更生施設としての老人を対象に、福祉ベルを重点的に整備し、十二カ所のふれあいセンターに併設され、機能訓練設備を増設します。更に、ひとり暮らしをもつ方々の自立更生施設としての老人を対象に、福祉ベル



夕暮時の商店街。地元の商店や地元商品を利用することは、地域経済を振興することに直結します。皆さんの協力をお願いします。



# コミュニティ施設づくりに重点

3月1日から開会された第1回定例市議会で、各種事業を盛り込んだ昭和59年度予算案が審議されました。

予算総額は、全会計を合わせて184億9,561万円で、昨年度6月補正後予算と比べ3.5%の伸びになっています。

事業の内容は、都市基盤の整備産業、教育・文化の振興、福祉の充実などを盛り込んでいますが、特に、地域の文化活動・コミュニティ活動の拠点となる施設整備に重点を置いています。

鷺別地区に250人収容できる大ホールをはじめ、会議室、図書室などを設けた「鷺別公民館」を、2億8,500万円をかけ、鉄筋コンクリート1部3階建てで現在建設中の消防署鷺別支署に隣接して新築します。

また、鉄南地区に肢体不自由児通園施設「のぞみ園」と幌別生活館に機能も備えた「(仮称)鉄南ふれあいセンター」を、2億5,000万円をかけ、鉄筋コンクリート3階建てで建設します。

その他の主な事業は、次のとおりです。

として記録し、広く市内外に紹介するとともに市民の郷土愛意識の高揚を図るため製作します。昨年はシナリオを作成。本年度と来年度の継続事業として実施します。

- 小学校営繕事業費 500万円  
市内各小学校の破損箇所などの補修を行います。

## 健康とおもいやり

- 障害者の街づくり推進事業 2,050万円  
市内の横断歩道切り下げ部分に、点字ブロックを設置するほか、幌別小学校に併置された言語治療教室の備品購入、療育パンフレットの作成などを行います。
- 小規模通所授産施設整備事業 310万円  
学令を越えた障害者の方に、技術を身につけ社会参加と自立更生を図っていただくため、幌別町7丁目の職員住宅を改造し備品を整備します。
- テレビ共聴設備改修事業 250万円  
養護老人ホーム「恵寿園」のテレビ共聴設備の老朽化による改修と、中央町サテライト局開設による設備の増設を実施します。
- 老人憩の家新設事業 1,650万円  
市内37番目の「老人憩の家」として、美園町2丁目に建設します。
- 老人憩の家増改築等事業 2,790万円  
登別東町4丁目の「汐見の家」のほか12ヶ所の増改築を行います。
- 室蘭・登別保健センター及び室蘭・登別急病センター建設事業負担金 790万円

保健センターの体育館建設と急病センターの移転新築に係る負担金を本年度と来年度の継続事業として実施します。

## 災害復旧を促進

昨年9月の記録的な豪雨災害は、多くの市民を恐怖に追い込み、住宅、道路、公共施設などに大きな被害をもたらしました。昨年に引き続き復旧工事の早期完了に向けて取り組みます。

- 農業用施設災害復旧事業 4,800万円
- 道路補助災害復旧事業 2,640万円
- 河川災害関連復旧事業 2億5,000万円

## 給食施設を充実

- 給食施設設備改修事業 1,900万円  
ボイラー、厨房室内配管などの改修を行います。
- 国民宿舎オロフレ荘内部改修事業 1,165万円  
ロビー、食堂などを改修します。
- 水道配水管布設事業 4,200万円
- 水道配水管改良事業 9,300万円
- 水道送・配水管移設等事業 6,030万円
- 登別温泉浄水場導水管災害復旧事業 5,608万円

昭和59年度 登別市各会計予算総括表

(千円以下切り捨て)

会計区分	昭和59年度予算額	昭和58年度6月補正後予算額	比較増減	伸率
一般会計	126億1,650万円	120億9,003万円	5億2,646万円	4%
特別会計				
国民健康保険	19億3,066万円	19億7,123万円	△4,057万円	△2%
観光事業	8,005万円	1億1,659万円	△3,654万円	△31%
学校給食	4億5,310万円	4億2,687万円	△2,622万円	6%
公共下水道	2億7,230万円	1億4,363万円	1億2,866万円	89%
亀田記念公園	6,075万円	6,650万円	△575万円	△8%
老人保険	22億8,925万円	24億5,837万円	△1億6,912万円	△6%
小計	50億8,611万円	51億8,320万円	△9,709万円	△1%
合計	177億0,261万円	172億7,324万円	4億2,936万円	2%
水道事業	収支差出 4億5,000万円	4億4,041万円	958万円	2%
支本費	3億4,300万円	1億4,932万円	1億9,367万円	129%
計	7億9,300万円	5億8,974万円	2億0,325万円	34%
総計	184億9,561万円	178億6,298万円	6億3,262万円	3%



鷺別公民館完成予想図 (予想図のため実際とは多少異なります)



# 文化・コミ



(仮称) 鉄南ふれあいセンターの完成予想図 (予想図のため実際と多少異なります。)

59年度  
主な事業の  
あらまし

## 緑ときれいな街並み

- 児童公園等新設事業 1,502万円  
新生町4丁目と新生町1丁目にそれぞれ遊具施設を整えた「なかよし公園」と「ことぶき公園」を新設します。
- 川上公園新設事業 3,301万円  
幌別ダム下に総面積9.4haの総合公園の建設を進めています。昨年、多目的広場の造成が終わりまりましたので、本年度は入口広場と駐車場の整備を実施します。
- 市道舗装排水整備事業 6億円  
市道の改良舗装整備を70件、延長14,849mを実施するほか、市街地の幹線排水路の整備を行います。
- 公営住宅建設事業 2億2,805万円  
柏木町4丁目に第1種公営住宅、2階建て1棟4戸(3LDK)と、第2種公営住宅、5階建て1棟20戸(3LDK)を建設します。
- 河川改修事業 9,500万円  
西富岸川他3河川の改修を、今年度も継続して実施します。
- 市道路線改良舗装事業 1億6,600万円  
これまでの継続事業として、東札内線の改良舗装と川上路線の舗装、更にカルルス線などの改良を行います。
- 富岸地区土地区画整理事業 300万円  
富岸地区の宅地開発を進めるため、測量を行い、基本計画書を作成します。
- 道々改良受託事業 3億1,164万円  
北海道の受託事業として、道々上登別室蘭線、道々洞爺湖登別線の道路改良による移転、用地買収を行います。
- 歩道舗装事業 2,140万円  
交通安全対策として、片倉通り500m、美園19号線70m、東町33号線70mの歩道舗装を行います。
- 衛生施設改修事業 1,700万円

し尿処理施設の遠心分離機の取付、火葬場、清掃工場の焼却炉を補修します。

- 消防救急指令装置購入事業 3,600万円  
災害、救急等の指令・要請を迅速かつ円滑に行うため、総合通信システム化を図ります。

- 富浦ミニ運動公園整備事業 430万円  
ベンチ、照明灯などを設置します。

## 情緒のある温泉街に

- 地熱開発調査事業費 300万円  
将来、温水プールや公共施設への暖房利用を図るため、幌別小学校付近を中心にテストボーリングなどを実施します。
- 公社営畜産基地建設事業 4,115万円  
58年度から61年度の4ヵ年計画で酪農業・肉牛業の経営の安定拡大を図るものです。本年度は、草地造成・草地整備改良、サイロの建設などの事業を行います。
- 中札内地区道管農免農道整備事業 2,969万円  
57年度に着手し、今年度は路盤改良572m、橋梁1基を設置します。64年度完了予定となっています。
- 沿岸漁業構造改善事業補助金(鶯別町地先) 770万円  
三石コンブの増殖を進めるため、自然石(安山岩)を投入し漁場の造成を実施します。
- 登別漁港修築事業負担金 672万円  
北海道が事業主体となり、漁港の整備を進めています。今年度は、289mの道路整備と50m船揚場を造成します。
- 登別温泉地区観光開発計画策定調査費 300万円  
国際観光地としてふさわしい温泉市街地の再開発と観光施設の整備充実を図るための調査が実施されます。
- 大湯沼川探勝歩道新設事業 350万円

登別温泉を訪れる旅行者の心をなごます散策路として、大湯沼から勝とき橋までの500m遊歩道を新設します。



現在の登別温泉街

## うれしい永久校舎

- 鶯別小学校校舎改修事業 3,000万円  
校舎天井の改修及び電気設備の改修を行います。
- 登別中学校校舎新增改築事業 7,435万円  
鉄筋コンクリート造2階建て、理科室理科準備室などを新增築し、現在の管理棟を改築して特別教室を設置します。また、危険校舎(木造校舎)を解体します。これによって、当市の小・中学校は全て永久校舎になります。
- 西陵中学校特殊学級設置事業 120万円  
市内の小・中学校を合わせて8番目の特殊学級として普通教室を改造し、備品を整備します。
- 広報映画作成費 715万円  
躍進を続ける登別市の姿を、広報映画



ふれあい  
広場



ケーキづくりは  
ここで  
石神直子さん  
(新川町3~4)

「私、写真がダメなんです」「お願いします」  
「本当に照れてしまいます」  
こんな電話のやり取りの翌日、のぞいてみた石神直子先生の公民館講座ケーキ作り教室。  
「受講生の受け付けを始めてから、たった10分で定員をこえてしまいました」とは公民館講座を担当している関係者の話で、知人や友人ばかりを集めているのかと思いきや――

「いえ、まったく知らない方ばかりです。皆さん楽しみながら、喜んで作っていたみたいです。手づくりが見直おされてるんでしょうね。」  
ケーキ作りの移けつは――  
「最近の傾向として、あまさを押さえるのがコツです。始めてから10年経ちますが、スポンジ作りが一番問題のようですね。でも、皆さんとてもおじょうずです」  
ユニークなケーキにニンジンゼリーをつかった野菜ケーキがあるとか。最後の試食会にお呼ばれしましたが、市価の3分の1で作られたケーキはうそ偽りなくベリーグッドでした。

▼ふれあい広場は、皆さんのまわりの身近な出来事、ホットな話題を取り上げ紹介していく企画です。どんなことでも結構です。公聴広報課へお知らせください。(☎5211内線222)

街かどで  
春に駆ける



富士町3丁目付近  
右みて、左みて――そら渡れ、でも、あまり速いと転んじゃうよと言いたげな右の坊や、春のコマでした。

このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

郷土史探訪

89 登別港町Ⅱ

フンペサパの伝説



港町2丁目(富浦方面)からみたフンペサパ

海底下れすれに大きな口を開いて人間達の舟を呑みこもうとしていました。驚いた神々はこのシヨキナを退治して人間の住む国を助ける勇ましい神はいないかと相談するが、海魔を恐れて誰一人救いに行こうとする者がいない。  
この時、「カワウソの神」が普段の威張り癖から「誰も退治できないのか」と馬鹿にしたように言ったので、他の神々からシヨキナを討つ役目を仰せつかってしまう。失敗したと思っただが後のまつりで、仕方なく天から下りたカワウソの神はシヨキナに立ち向ったものの、恐いほどの力をもったシヨキナの勢いに慌てて逃げまどいながら刀を捜したが見つからない。  
岸辺の里の神々に「里の神よ、刀を貸してくれ」と頼み訴えたが誰も普段威張り屋のカワウソに對しそっぽを向いている。  
ところが、のぼりべつの里へ来ると、その里神が「カワウソの神よ、刀は自分の腰にさして持っているではないか」と教えてくれたので、カワウソの神もやっとな気がつき、自分の腰の刀を抜いてシヨキナを両断し退治してしまう。  
この時にお札として、頭の方をのぼりべつの里神に残したのがフンペサパ・鯨山

三月十日夜七時のHBCテレビ「まんが日本昔ばなし」に、「登別フンペ山」の伝説が「山になった鯨」という題名で放映されたのでご覧になられた方も多かったことと思います。  
登別駅南東の海に面して大きく広がる丘状のフンペ山は、テレビで放映されるまでもなく、伝説の由来から呼称されている山で、語原は「フンペサバ」(鯨・頭)と呼ばれウエベケレ(昔話)の中にも有名です。ここでフンペ山の話

を簡単に説明しましょう。  
昔、天に住んでいた偉い神々が人間の住んでいる地界の国をふと見ると、シヨキナという巨大な鯨のような海魔が、上のあごを天空すれすれに、下あごはを簡単に説明しましょう。  
岩の下層部分は紅色を帯び、ついで紫紅色、上部は紫青色と、落ち着いた柔い色合いや、粘り、油けがあり、石材として人の眼を引きつけるに充分なフンペ山が最初の石切り場も、富浦東部、登別本町二丁目のヘサンケの石切場などと増え、登別石の名を全国的に高めました。しかし、フンペ山が、陸に上った鯨が日乾しにされ瘦せた姿をみせているようで伝説の末路もなんとなく哀れに感じられます。

だという。  
伝説の由来からも同われますが、昔は神聖な山で、漁港の西方に新道から山に登ることの出来る緩やかな空沢があり、右手の方向に頂上に通じています。この空沢を幣場に行く沢「ヌサシコツ」といい、頂上やや平地の所を西の方向に進みきると「オネサウシ」(古い・幣場)といわれる祭り場があったといわれます。  
伝説のあるこのフンペ山の組成は溶結凝灰岩で「登別石」として全道にその名を広めました。  
登別石が生産されるようになったのは明治二十年代で、今から約百年前ですが、削り易いこと、色彩の良さなどで古くから使用されたものと思われまます。  
明治二十五年、北海道炭鉱鉄道の開設、登別駅の開設によって、このフンペ山の北側から採取された石材は、鉄道工用や大量の宅地造成工用として生産され、大正初期になると、道路・排水溝・倉庫・石堀・神社などに大量の需要があり、フンペ山麓近くに石材専用の岐線が敷設されるようになりました。





# スパイクタイヤを はきかえて

4月15日～10月31日まで

雪どけの季節になると、私たちの住む登別市でも粉じんが風に舞い嫌な思いをした方も多いのではないだろうか。

この粉じんはスパイクタイヤが道路を削りつつたもの。住みよい環境を作るためにも、スパイクタイヤのはきかえは皆さんにぜひご協力いただきたいお願いです。

粉じんが増えるのは初冬と雪どけの季節。その粉じんにはアスファルト、道路標示のペンキ、スパイクの金属粉、ゴムなどが含まれています。

私たちがいやおうなしに吸い込んでいる粉じんは、肺胞や気管支、血管周囲に沈着して肺機能障害をおこすといわれています。

スパイクタイヤの害は、生活環境に悪影響を及ぼすだけではなく、道路にワダチを刻み、白線や黄線を削り、道路の補修に要

する費用は全道で二百七十億円にものぼると推定されます。

道央・道南地域のスパイクタイヤ使用自粛期間は、4月15日から10月31日までです。交通安全を確保しながら、健康的に住みよい環境を作るため、ぜひ皆さんのご協力をお願いします。

なお、他の地域でのスパイクタイヤ使用自粛期間は次のとおりです。

- ▽道東地域 5月1日から10月31日まで
- ▽道北地域 5月1日から10月15日まで
- ▽道東地域 5月1日から10月31日まで

領書を配布しています。

この保険は、スポーツ活動中や活動場所から自宅までの通常の経路で起きた事故を補償します。安心してスポーツをするためにも、ぜひご加入ください。

▽対象 10名以上のスポーツ団体

▽保険料 内容により、第一種、第二種それぞれA・B・Cに区分されていますが、地域スポーツクラブ（ママさんサークル、朝野球チームなど）は、一人年間千円となっています。

▽保険金

- 死亡・後遺障害／千二百万円
- 入院日額／三千七百円
- 通院日額／千円
- 加入手続きなど、詳しくは総合体育館へお問い合わせください。（TEL 5552）

犬の登録と  
狂犬病予防注射

広報のぼりべつ三月十五日号でお知らせした犬の登録と狂犬病予防注射の実施日程に次の場所が追加されました。この地区の方は、忘れずに犬の登録と狂犬病予防注射を行ってください。

▽実施日 4月13日（金）

▽場所・時間 津村商店前・緑町

2丁目／10時～11時20分、三条建設前・新川町2丁目／11時30分～12時、警別支所前／13時10分～14時10分、横山商店前・ハナス団地／14時25分～15時

※詳しくは、清掃事務所へお問い合わせください。（TEL 2005）

給食センターから

五十九年四月から、原材料の値上げに対応するため、小・中学校の給食費が改定されることになりました。改定後の給食費は、月額小学校で二七〇〇円、中学校で三三〇〇円です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

技能検定のご案内

五十九年度の前期技能検定が、次のとおり実施されます。

- ▽受検申請書の受付 4月13日～24日まで
- ▽実技試験期間 6月22日～9月17日まで
- ▽学科試験 9月2日、9日、16日のいずれか。

※職種や受検資格、受検手続きなどについては、胆振支庁商工労働課内胆振地方技能訓練協会にお問い合わせください。（TEL 0143-22-9131 内線293）

## お気軽に ご相談を

た だ ひろし  
多 田 弘 人権擁護委員

人権擁護委員は、不当な差別や虐待などの人権問題や交通事故、借地、借家、離婚問題などの相談に応じています。

59年3月1日付で、法務大臣から多田弘氏が人権擁護委員に委嘱されました。防犯・社会福祉・児童問題などに大きく貢献してきた多田氏は富士町6-27-4（TEL 2837）にお住まいです。お気軽にご相談ください。

なお、市内には多田氏のほか次のとおり4人の人権擁護委員がいらっしゃいます。

- ▶ 藤田 隆雄——登別東町2-22-1（TEL 31009）
- ▶ 星 喬——新生町5-20-11（TEL 68286）
- ▶ 赤塚 幸吾——常盤町3-9-4（TEL 53829）
- ▶ 岩井 勲——登別温泉町60（TEL 42145）



皆さんは「電話お願い手帳」をご存知でしょうか。一ページ目をめくると――

「おそれいりますが、私は耳、言葉が不自由なため電話がかけられません。私のかわりに電話をしてください。」で始まるこの手帳は、登別電報電話局から昨年に寄せられたもので、市内では約七十人の方がお持ちです。

もし、このような手帳をお持ちの方にお会いしましたらご協力くださるようお願いいたします。

※この電話お願い手帳に関するお問い合わせは、市福祉事務所へ。（TEL 2111 内線335）

見かけたら  
心よく

電話お願い手帳



家族で守ろう“交通弱者”

暖かい日差しに誘われて、何となく外出したい気分になってしまふ——春はそんな季節です。でも気をつけてください。狭い日本には人や車があふれています。

交通事故のなかでも二輪車の事故、歩行中のお年寄りの事故、自

転車乗車中の子供とお年寄りの事故が目立って増えています。

4月6日から15日までは「春の全国交通安全運動」——。歩行者もドライバーも暖かい陽気に気をゆるめることのないよう、交通安全を確認し合ってください。



春の全国交通安全運動・4月6日～15日

市民憲章

ふれあう心の合言葉

一、教養をつみ視野を広げて、平和で文化のかけり高いまちをつくりましよう。

子宮がん検診

早期発見で確かな健康を

今まで集団で実施していた子宮がん検診が、今年から登別・室蘭市内の産婦人科のある病院で実施することになりました。検診を受け体の健康を確かめてみましょう。

▽実施医療機関 登別・室蘭市内の産婦人科のある病院、または室蘭登別総合健診センター

▽対象者 30歳以上の方  
▽検診期間 4月1日から翌年3月31日まで  
▽検診日時 各医療機関により検診日、検診時間が異なりますので事前に確認してください。  
▽検診料金 1,000円  
※受診の際には、健康保険証などを必ず持参してください。

更新手続きをお忘れなく  
国民健康保険の保険証

月	日	曜日	時 間	実 施 地 区	実 施 場 所	
4	9	月	11時～15時	カヌヌヌ町、上登別町	オロフレコ	
		火	10時～16時	高田町、幸町	高田 宝 館	
	10	火	10時～18時	栄町、富岸町、若山町、大和町	富 浜 児 童 館	
	11	水	10時～18時	若草町、新生町	千代の台集会所	
	12	木	10時～18時	登別温泉町、上登別町、中登別町	登別温泉公民館	
	16	月	10時～16時			
	17	火	10時～18時	美 蘭 町	ひまわり園	
	18	水	10時～16時	登別東町、登別本町、登別港町、	登 別 公 民 館	
	19	木	10時～18時	中登別町、札内町		
	20	金	月	10時～18時	鷺別町、栄町	鷺 別 公 民 館
	23	4	火	10時～18時	若草町、新生町、上鷺別町	優 和 園
	25	水	10時～16時		全 地 区	
	26	木	10時～18時			
	27	金	10時～18時		旧中央公民館	

3カ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽会場 道立室蘭保健所（室蘭市幸町9番11号）  
▽受付時間 午前9時30分～11時、午後1時～2時30分  
▽料金 920円  
▽持参するもの 母子健康手帳、換えオムツ

▽対象者 40歳以上で健康保険の被扶養者、または国民健康保険の被保険者とその家族  
▽開設日時 4月から毎週月曜日（ただし、休日の場合はその翌日）／午前9時30分～11時30分まで

▽日程 4月26日：労働福祉センター（観別地区）  
4月27日：警別公民館（警別地区）

▽受付時間 12時～12時15分  
▽対象児 59年1月出生児  
▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

▽開設場所 市役所第2庁舎（旧中央公民館）  
▽相談内容 保健婦による保健指導など（電話による相談も受け付けます）

股関節脱臼検査

これまで労働福祉センターで行ってきた股関節脱臼検査が、四月から道立室蘭保健所で毎月一回実施されることになりました。

▽対象児 生後3カ月～6カ月児  
▽日程 4月10日

▽実施方法が変わりました  
▽股関節脱臼検査

▽問合先 保健衛生課（Ⅱ⑤2111内線250）  
※なお、市内の各地区で毎月一回実施している健康相談も多数ご利用ください。

市民健康相談室を開設します

市では、老人保健法にもとづく成人病予防対策の一環として「市民健康相談室」を開設します。皆さんお気軽にご利用ください。

▽開設場所 市役所第2庁舎（旧中央公民館）  
▽相談内容 保健婦による保健指導など（電話による相談も受け付けます）



現在お使いの保険証は、四月三十日有効期限が切れて使用できなくなります。新しい保険証への更新は、下表の日程で行いますので、保険証と印鑑をもって手続きをしてください。また、保険税を未納にしている方は、更新時までにお早目に納付されるようお願いいたします。

危険物取扱者試験が実施されます

消防法第十三条の三の規定による危険物取扱者試験が次のとおり実施されます。

▽試験の種類 乙種四類および丙種  
▽試験の日時 5月20日（日）  
▽試験地 室蘭市  
▽受付期間 4月2日～14日  
▽願書提出先 胆振支庁地方部振興課（〒051 室蘭市幸町9-11）

▽願書請求先 登別市消防本部（各支署）または胆振支庁地方部振興課  
※お問い合わせは、登別市消防本部へ。（Ⅱ⑤2111内線383）

不用品ダイヤル市



⑤2111 内線257

おわけします（売り）

コーナーイス、ステレオ、ラジカセ、電気治療器、食器乾燥器、スキー（145・170cm）、スケート靴（22.5cm）、石油ストーブ（ポット式）、夏タイヤ（165-13、185-13ホイール付）アンマ器、ガスレンジ（都市ガス）

ゆずってください（買い）

ジュタン（8帖）、シングルベット、学習机、ドラフター（製図用机）、ベビーベッド、すべり台、ブランコ、アンテナ（屋外用）、自転車（大人男用）、スキー靴（17・18・21・22cm）、スケート靴（20cm）、ギター用アンプ、ピアノ、エレクトーン、電気オルガン、ホームタンク（90ℓ）、ストーブガード、石炭風呂釜